

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会
第2号 2003年7月発行

蛍の思い出

企画部会幹事 成田 忠志

十和田湖を有する秋田県鹿角郡小坂町は、秋田・青森の境界に位置する鉾山町ですが、八千代市の中を横切る新川のように小坂川が鹿角盆地の中を流れ、八幡平からの米代川と合流して日本海側に流れていきます。

この河川の両側には田圃が多く、昔は多くの蛍が飛んでおりました。

鹿角地方の夏は、7月中旬くらいから8月のお盆前くらいが30℃前後の暑い季節ですので、この短い間に蛍のみならず、トンボ、蝶々が飛び交います。

昭和30年前後の子供たちにとっては今のようなトンボ網もなく、蛍の場合は素手や団扇を用いて蛍狩りをおこない、トンボや蝶の場合には、長い竿の先端に針金を丸くして蜘蛛の巣を巻き付けた道具でこれらの昆虫採取を行い、小学校の夏休みの課題提供としたものです。

また30℃前後の気温が長く続かないために、源氏蛍と平家蛍とが同時期に生育しているため、体長の大きい源氏蛍をとった子が鼻高々で周りの子供たちに見せびらかしていたものでした。

このような子供時代のホタルや昆虫を追いかけた思い出は忘れがたく、村上団地で生まれた子供達にも一度は見せて上げたいということで、八千代市ほたるの里づくりを手伝うようになりまして既に4年以上になりました。

手伝ううちに気づきました事柄として、こちらでは5月～6月にかけて源氏蛍が飛び、6月～8月に平家蛍が飛び交うというように時期が異なって生育することを初めて知りました。

八千代市ほたるの里では、まだ源氏蛍や平家蛍の個体数は少ないようですが、いつかは房総・大原にありますホタルの里のように源氏蛍が乱舞するような里づくりができないかと願っておりますが、ホタルの里だけでなくまわりの田圃や山林を含め広い範囲を市当局が借り上げ、ビオトープ型の環境作りも今後の課題ではないかと考えております。

また一人の力は微々たるものですが、多くのホタルメイトの方々と力を合わせて、また息長く10年、20年と継続していくうちに、ホタルが乱舞する憩いの里ができるのではないかと考えております。



明るい線がホタルが光って飛んでいる様子

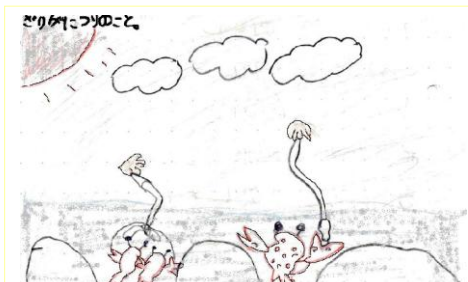
(5月28日 ほたるの里で撮影)

里の環境整備体験談

5月24日に行われた環境整備にガールスカウト千葉県第57団の子ども達が参加してくれました。後日、彼女たちからメッセージが届きました。特にザリガニ釣りが楽しかったようです。

○ホタルを食べるザリガニが何びきもいたことにおどろきました。ホタルがかわいそうだと思います。今年も去年みたいにホタルがたくさんとんでくれるといいなあ。(なつこ)

○草とりとザリガニがいっぱいとれてうれしかったです。またほたるの里にいきたいです。(なみ)



○ザリガニはこわかったけどたのしかったです。カエルもとれたけど生きてるこんちゅうやミミズやハエを食べるからにがしました。(まいか)

○うれしかった事

大きなザリガニがとれた事

草ぬきがおわったら気分がよくなった事

ほたるの里がきれいになった事

いっぱい虫が見れた事

ザリガニつりがうまくなった事 (ゆき)



『ボランティアとは である!』

去る5月22日「自然の家ふれあい体験学習」の中で、加藤会長が勝田台中学校2年生を対象にほたるの里やボランティアについての講演を行いました。ホタルを通じ自然環境やボランティアについて考えるキッカケになれば幸いです。ここでは生徒達からの声を一部紹介します。表題の言葉が生徒達には大変印象的だったようです。

○こんにちは。今ほたるの里はどうですか？ 今年の夏はホタルはいますか？ 是非今度ホタルの里に行ってみようと思います。加藤さんも頑張ってホタルを復活させ、ホタルの町と言われるようにしてください。(A君)

○初めは、ほたるの里がどこにあるのか、どういうものなのか知らなかったけど、この辺りの自然環境のこと、ホタルのいる場所、ホタルの種類もわかりました。加藤さんが言った「自然を壊すのは簡単だけど、直すのは難しい」という言葉がすごく心に残ります。(N君)

○「ボランティアは愛である！」っていう言葉、すごいイイ言葉だと思います。「私たちのせいで少なくなったホタルを私たちの手で元に戻す。」ということはあたり前だけど実行することは大変なこと。実際やることができる加藤さん達はスゴイ人達です。昔のようにホタルをいっぱいにするにはあと何年かかるかわからないけど、いつかはホタルいっぱいの八千代市になるよう頑張ってください。(Tさん)



(5月24日 ほたるの里でのザリガニ釣り)

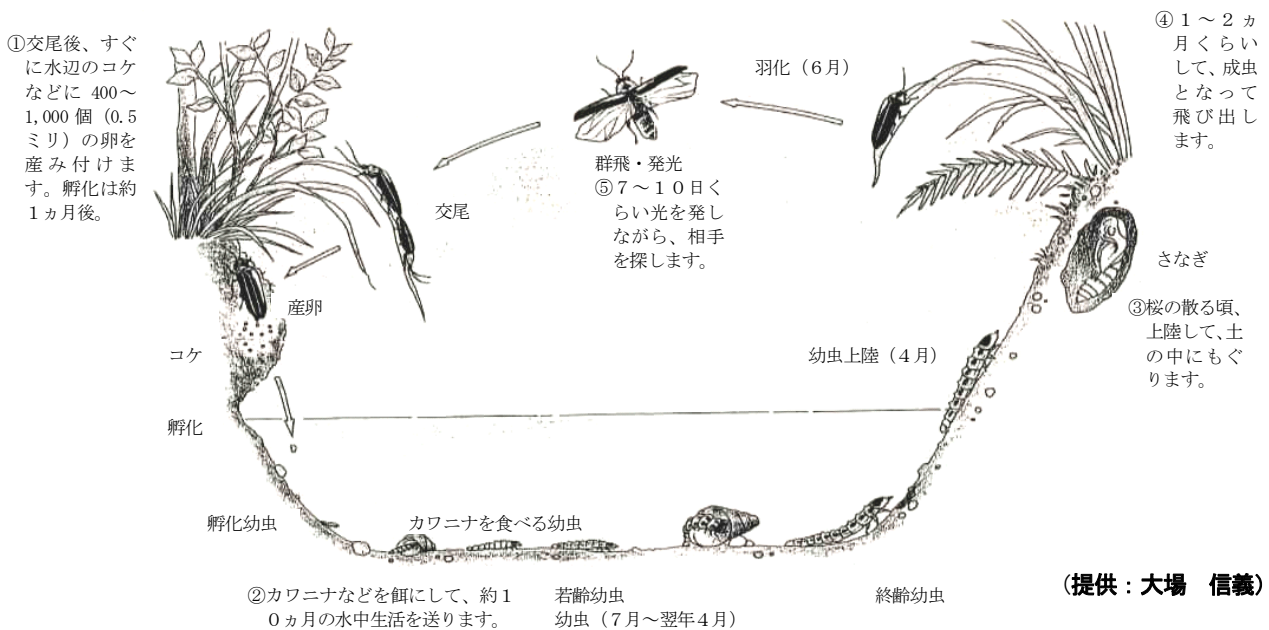
里のみどころ (7～9月のころ)

今年、5月18日から6月10日ころまで、ゲンジボタルの飛ぶ姿が見られました。
 多い日には、30匹近く飛び交い、ダイナミックに飛ぶ姿と光の強さには、感動！！でした。
 6月20日には、ヘイケボタルが飛び始め、ほたるの里はやさしい光に包まれています。
 昼間の里は、青々とした草木の中、
 ハンゲショウの白い葉が目にとまります。
 周りの田の稲もグングン育ち、
 8月には小さな花を咲かせます。
 そして、ミソハギ、カワラナデシコ、
 オミナエシの花が咲き始め、
 季節は夏から秋へと移っていきます。
 里に来て季節を感じてみませんか・・・
 (くわはた)



ホタル

ハンゲショウ



里からのお願い

ほたるの里にはゲンジボタルとヘイケボタルが生息しています。幼虫を踏みつぶさないために、上陸する4月から産卵する8月までロープ内に入らないで下さい。

ホタルの自生のために、ホタルを持ち帰らないで下さい。

《第6回総会報告》

第6回総会が4月12日に出席者65名で行われました。今年度も加藤賢三会長のもと新しいスタッフも加わって、運営していきます。新たな事業として植樹と会報の年4回発行が決まりました。総会資料の請求は事務局にて受け付けています。



《7、8、9月のスケジュール》

(4月12日 総会)

ナイトウォッチング

日時：7月12日 午後7時～8時30分
申込：当日直接、ふるさとステーション
(6時30分より受付開始)
注意：当日は懐中電灯を持参の上、
動きやすい服装で。

里の環境整備

日時：7月26日 午前9時～11時
8月30日 午前9時～11時
9月27日 午前10時～正午
集合場所：ほたるの里
注意：夏場は帽子や飲み物など、
各自で暑さ対策を。

里で学習会しませんか？

子ども達を対象とした自然学習会の開催
希望をされる方、お手伝いを致します。

お絵描きしませんか？

7/26 に里に置く木製のベンチに
お絵描きします。ご希望の方は
7/18 までにご連絡下さい。

ホタルメイトになりませんか？

年会費	個人	300円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、イベント、ほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

- ① 池や小川の中に入らないこと
- ② 草や虫をいじめないこと
- ③ ゴミをすてないこと
- ④ コイ、ブラックバスなどをいれないこと



[ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5
八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課
TEL047-483-1151 Fax047-484-8824

[編集]

広報部会
事務局